

## 平成31年度 行政評価事業別シート

<b>実計対象</b>	<input checked="" type="checkbox"/>	<b>評価対象</b>	<input checked="" type="checkbox"/>	<b>新規</b>	<input checked="" type="checkbox"/>	<b>完了事業</b>	<input type="checkbox"/>	<b>ゼロ予算事業</b>	<input type="checkbox"/>	<b>担当者</b>	土屋
<b>全体計画</b>		平成31年度	～	令和2年度	<b>経費区分</b>			実施計画事業費		<b>内線</b>	3312
<b>事務事業名</b>	12333 福社会館整備事業										
<b>所 属</b>	100100 健康福祉部・福祉課										
<b>施 策</b>	01020500 障がい者福祉の充実										
<b>予算科目</b>	<b>会計</b>	01 一般会計									
	<b>科目</b>	030105 民生費・社会福祉費・福社会館費									
	<b>事業</b>	020000 福社会館整備事業									
<b>事業目的</b>						<b>事業概要・効果</b>					
障がい者福祉の増進と自立の促進を図るために設置定めた施設の維持管理と適切な管理運営を行うことにより、障がい者福祉の向上を図る。						福社会館の老朽化が進み、建築基準法に基づく定期報告において、屋根修繕及び外壁修繕が指摘されているため、改修工事を行う。 トイレからの臭いがひどいため設備改修を行うとともに、給水設備の老朽化が進んでおり、維持が困難になってきているため、直結方式の給水方式に改める。					

**PLAN-DO**

**年度実績及び予定**

<b>平成27年度 実績</b>	<b>平成28年度 実績</b>
<b>平成29年度 実績</b>	<b>平成30年度 実績</b>
<b>平成31年度 予定</b>	<b>令和2年度 予定</b>
設計委託業務 1,967千円	施設改修工事 39,000千円

指標名						単位	
算式						単位	
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名						単位	
算式						単位	
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名						単位	
算式						単位	
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							

事業費

(単位：千円)

		平成30年度 決 算	平成31年度 予 算
事業費		0	1,967
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	1,800
	その他	0	0
一般財源		0	167
人員数(人)	正規職員	0.0	0.1
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	0.0	715.0
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
	計	0.0	715.0
市民一人当たりの経費		0.0	0.1
総額		0.0	2,682.0

(単位：千円)

平成30年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	0	
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	0	

(単位：千円)

平成31年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	0	
13節 委託費	1,967	設計委託料 1,967千円
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	0	

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか</li> <li>・行政内部の管理運営上必要な事業であるか</li> <li>・市が主体となり実施すべき事業か</li> <li>・法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか</li> <li>・目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか</li> </ul>	高い
評価コメント	施設の長寿命化を図るために必要である。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の成果は上がっているか</li> <li>・目標に対する達成度は十分か</li> <li>・市民生活上の課題解決に貢献しているか</li> <li>・行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか</li> <li>・事業の目的が達成できるような事業内容になっているか</li> </ul>	有効
評価コメント	施設の長寿命化を図り、案して利用できるようにするために必要である。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか</li> <li>・効率性向上に努めているか</li> <li>・使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか</li> </ul>	やや向上
評価コメント	今後、設計業者及び施工業者との緊密な打合せを行う中で、費用の削減に努める。	

振り返り（決算年度の取組み課題）
新規事業

**ACTION****1次評価**

次年度以降の方向性	進め方の改善（縮小）
総合評価コメント	
着実な事業執行を図る中で可能な範囲での経費の節減に努める必要がある。	

**2次評価**

次年度以降の方向性	進め方の改善（縮小）
2次評価コメント	
利用者の視点に立った整備が必要となるが、経費削減が必要	

**外部評価**

次年度以降の方向性
外部評価コメント